

經濟論叢

第137卷 第1号

降旗武彦教授記念號

献 辭	山 田 浩 之	
情報ネットワークと企業間関係	浅 沼 萬 里	1
役員兼任と企業間関係の測定	佐 藤 義 信	22
一般システム理論と組織論	岸 田 民 樹	42
大手小売業の競争戦略	西 口 義 展	61
企業間組織についての一考察	麻 生 幸	83
途上国企業経営：飛躍へのステップ	中 川 多喜雄	104
会社支配の発展類型	三 戸 浩	120
日仏多国籍企業の人事管理	尼 子 哲 男	138
スウェーデンにおける職務研究と 作業組織の再編成	赤 岡 功	159

降旗武彦 教授 略歴・著作目録

昭和61年1月

京 都 大 学 經 濟 學 會



時頌武 教授 肖像

降旗武彦 教授 記念論文集

献 辞

降旗武彦先生は、本年6月9日に63歳の誕辰をお迎えになり、来春3月31日をもって、本学の杏壇を退かれることになりました。

先生は、学徒動員から昭和20年に京都帝国大学に復学、昭和26年本学講師となり、助教授を経て、同45年教授に就任、経営学の研究、教育に力を傾注してこられました。

この間、先生は、企業の内部に深く立入ることにより企業の動きを真に把えうる理論を構築せんと一貫して努めてこられました。この立場から、先生は、ドイツ経営経済学の研究からアメリカ制度学派、人間関係論の研究へと進まれ、さらに、バーナード理論の重要性に早くから注目して、その紹介に力を入れられました。その後、先生はより現実の企業に迫りうる理論を求めて、オープン・システム論による経営学を樹立され、主著『経営管理過程論の新展開』（1970年）を発表されましたが、同書は日経経済図書文化賞に輝き、先生の学界における地位を不動のものとしたのであります。

先生は、このアプローチをさらに深化、具体化され、そのご研究は編著『企業組織と環境適合』（1978年）、『経営戦略論』に関する一連のご労作、及びこの新しい体系による『経営学原理』（1986年）として結実しています。

先生はまた、各種学会、研究団体、大学設置審議会等を通じて、経営学の発展に尽してこられました。さらに、本学部において多数の優秀な学生を各界に送り出し、また多くの気鋭の研究者も育てられました。

その上、先生は、経済学部の苦難の時期に、学部長、評議員の重責を担われ、身を挺して学部の運営にあたられました。先生のご労苦にわたくしども心より感謝いたしております。

京都大学経済学会は、先生の学恩に深謝して、『経済論叢』の本号を記念号として編集いたしました。先生に薫染した研究者の誠心の労作を集めた本号を先生に捧げることができずのは、わたくしども一同、欣幸の至りであります。

先生には、今後ますますご清祥におすごしになり、ご研究をさらにおすすめになられますことをお祈り申し上げます。

1985年12月20日

京都大学経済学部長 山田浩之